

『国分寺市ビジョン』

(素案)

国分寺市ビジョン

「国分寺市ビジョン」とは

少子高齢化の進展や地球温暖化など、私たちを取り巻く環境は刻々と変化しています。また、近年のデジタル化やグローバル化の進展とも相まって、人々の価値観やライフスタイルの多様化が進んでいます。

このように社会環境の変化が激しい時代だからこそ、目指していく未来のまちの姿をみんなで共有し、一人一人がそれぞれのカタチでまちづくりにかかわっていくことが大切になります。

「国分寺市ビジョン」は、市の最高規範である国分寺市自治基本条例（平成20年条例第43号）に定める「基本構想」として、市と市民と事業者等が共に目指す「未来のまちの姿」と「まちづくりの基本理念」を示すものです。

未来のまちの姿

私たちが共にまちづくりを進める上での共通の目標として、「未来のまちの姿」を次のとおり定めます。達成目標年度は、8年後の令和14（2032）年度とします。

『歴史をつむぎ 心をつなげ ともに未来をつくるまち』

私たちのまち国分寺は、都心へのアクセスに優れ、買物や食事を楽しめる商業施設や店舗が充実しているながら、国分寺崖線沿いでは豊かな湧水と緑が存在し、市内各所で農地が数多く見られる、都市だけどこか懐かしく、特別な心地良さのあるまちです。

また、市名の由来となっている武蔵国分寺跡や国の重要文化財・木造薬師如来坐像など、国分寺には貴重な史跡・文化財が数多く残されています。さらに、日本の宇宙開発発祥の地、新幹線の技術開発の地でもあり、「コクブンジ」と名付けられた小惑星、新幹線の愛称「ひかり」に由来する地名があるなど、科学のまちとしても知られています。

これらの個性は、長い歴史の中で人から人へ想いと共に受け継がれながら、このまちに根付いてきました。そして現在も、先人から受け継いだ個性を大切にしながら、国分寺に関わるすべての人が世代や性別、国籍などの枠を超えてつながり、共鳴し合うことで新たな価値を生み出しています。

社会環境の変化が激しい時代だからこそ、私たちは、人と人とのつながりを変わらずに大切にしながら、様々な変化に対応することで、更なる結び付きを強めていく必要があります。

国分寺の個性に触れることで、市民のまちへの愛着や誇りが一層醸成される。そして、これを受け継ぎ、次の時代へつなげる中で、新たな価値が生まれ、人と共に更にまちが成長し、輝いていく。私たちは、そんな「つながり」を大切にするまちを実現します。

まちづくりの基本理念

「未来のまちの姿」の実現に向けて、以下に掲げる「まちづくりの基本理念」を念頭に、第2次国分寺市ビジョン実行計画に示す施策・事業を展開していきます。

1 みんなで進める

まちが成長するための原動力は人です。世代や性別、国籍などの枠を超えて、すべての人が思いやりをもって関わり合い、共に成長しながらまちづくりを進めていきます。

2 未来へつなげる

自然環境と都市機能の心地良い調和など、これまでに築き上げた国分寺の個性を大切にしながら、新たな技術や時代の流れを力に変えて、常に成長へとつながるまちづくりを進めていきます。